

英検® 準1級



インターTOMAS秋篠スクール

岩瀬 美里さん [恵泉女学園高 2年]

入会時の課題

2級の取得をめざしていたが、リスニングに苦手意識があった。ライティング、スピーキングに関しても、演習量に課題があった。

こうやって解決!

リスニングは、シャドーイングと2倍速での聴きこみを徹底。演習量を追求したことで、自信をもって試験に臨むことができた。

英語資格取得DATA

中2 英検® 準2級合格

高1 英検® 2級合格

高2 英検® 準1級合格

合格の決め手

圧倒的な演習量が
スコアの安定につながった



西村 展和 先生

英検®の過去問は、同じ問題を3回以上演習してもらい、3回とも間違った問題については、必ずスクリプトリーディングを取り入れていました。リスニング・スピーキングともに圧倒的な演習量を追求したことで、スコアを安定させることができました。

2倍速の聴きこみで苦手のリスニングを克服

Q. インターTOMASに入会したきっかけは?

当初の目的は、英検®2級に合格することでした。高1の1月に入会し、翌2月には2級を受験。無事合格することができたので、その後はすぐに準1級の対策に切り替えました。2級合格から間を空けずに準1級の対策に取り組んだことで、高いモチベーションを保ったまま学習を継続できたと思います。

Q. インターTOMASのよかったところは?

インターTOMASでは、とにかく量を追うアプローチを提案されました。ライティングは、オリジナルのトピック集や要約問題集を使い、週に2題ずつ英作文に取り組みました。私が書いたテキストをメールで提出することで、先生が添削をして戻してくれたので、効率的に学習を進めることができたと思います。リスニングは、シャドーイングや原稿を見ながら2倍速で解く練習を行いました。もともとリスニングはあま

り得意ではありませんでしたが、この2つの練習をとにかく何度も繰り返したことで、徐々に聞き取れるようになっていきました。

スピーキングは、先生から回答のコツを聞いて、実践形式の練習を繰り返しました。演習量を積んでいたことで、本番も自信をもって臨むことができ、結果として満点で合格することができました。

Q. 先輩へのアドバイスをお願いします

リスニングは、2倍速で聴く練習がおすすです。私の場合、早いスピードで練習したことで、本番で流れる音声が遅く感じました。演習量に関して言えば、英語に耳を慣らすために、文を覚えてしまうぐらい聴き込むことがおすすめです。また、聴いたあとは繰り返し音読をするとういです。音声を聴いて正しい発音を学び、音読をして英語のリズムを体得することで、リスニング力は向上していくと思います。